

学校と地域との連携の取組

～開かれた学校づくり～

【宇部市 厚東中学校区】

地域の概要

厚東中学校区は、宇部市の北東部に位置し、二俣瀬地区と厚東地区からなっており、面積は約 54 平方キロメートルと宇部市の約 5 分の 1 を占めています。

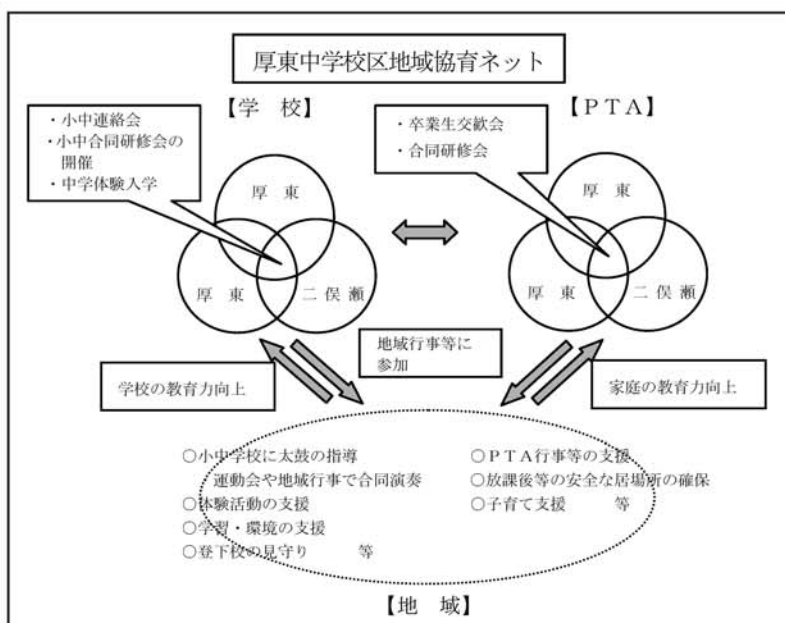
両地区とも自然豊かな緑に囲まれた地域であり、農業が基幹産業ですが、国道 2 号、J R 山陽本線が通る交通の要所でもあります。

人 口	3,363 人	
世帯数	1,518 世帯	
対象校及び 児童生徒数	厚 東 中 学 校	53 人
	二 俣 瀬 小 学 校	41 人
	厚 東 小 学 校	72 人

組織の内容

厚東中学校区では、学校、家庭、地域の一層の連携を図るため、推進母体として、厚東中学校区地域協育ネット推進協議会を設置しました。学校関係者をはじめ PTA 関係者、学校評議員（地域代表者）で構成されています。

今年度は、まず推進協議会設置要綱を作成したほか、事務局を含めた役員選出なども行い、協議会の中で承認を得ました。また、それぞれの学校要覧をもとに情報交換会を行い、学校や地域の課題を共有しました。



二俣瀬地区、厚東地区ともに「地域の子どもは地域で育てる」という意識が高く、それぞれの地域で見守り隊が結成され、子どもたちの登下校を安心・安全なものにしています。特に、

厚 東 中 学 校 区	学校関係者	4 名
地 域 協 育 ネット	PTA関係者	6 名
推 進 協 議 会 委 員 の 構 成	地 域 代 表	5 名

厚東地区では平成 25 年度に見守り隊の結成 10 周年を迎え、見守り活動も年々充実しています。

また、両地区ともに「放課後子ども教室」を実施しており、多くの地域の方々が「地域の先生」や安全管理員となって子どもたちの学習や体験活動を行うなど、地域ぐるみで子どもたちの育ちや学びを支援しています。

小・中学校の連携については、これまでも学力向上や家庭学習の習慣化に向けた共通実践事項の確認や、3校の主任が集まっての情報交換、中学校の行事や公開授業等に小学校の教員が、小学校の行事や校内研修等に中学校の教員が行き来するなどしていましたが、今後は更にこれらの取組を充実発展させるとともに、小小連携の一層の促進を図り、また学校と地域との連携も更に進めたいと思います。この学校・地域の連携のためのツールとして太鼓があります。厚東中学校、二俣瀬小学校、厚東小学校の樽太鼓や和太鼓、竹太鼓は、学校間の連携や学校・地域間の連携を進める上で、大きな役割を果たしてくれるものと期待しています。